
お兄ちゃんと咲季

MEBIUS

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

お兄ちゃんと咲季

【Nコード】

N1925U

【作者名】

MEBIUS

【あらすじ】

希望に満ち溢れた将来を夢見る少女・咲季（九歳）と、彼女の兄貴分の青年（名前・年齢不詳）の、理想を打ち壊す最低な会話集。

フルーツショップ

「ねえ、お兄ちゃん」

「何だい、咲季ちゃん？」

「お兄ちゃんは今果物屋さんで働いてるんだよね？」

「ああ、そうだよ。いきなりどうしたんだい？」

「今日学校でね、将来の夢について話してて、私果物屋さんになりたいって言ったの」

「へえ、そうなのか。でも、どうして？」

「私、果物好きだから！！」

「そうだね、咲季ちゃんは果物好きだよな。僕が持ってくると直ぐに全部食べてしまうし」

「でもね、私果物屋さんがどんな事するか知らないの」

「だから、今丁度働いている僕に聞いてみたよ」

「うん！！」

「そうだなあ……先ず咲季ちゃんは果物さんにどんなイメージを

持つてる？」

「えーとね……いい匂い！！ 林檎とか、蜜柑とか、苺とか、メロンとか、甘くていい匂いが一杯！！」

「そうだね、果物の匂いはいい香りだね。……少し嗅ぐくらいなら」

「え？」

「果物は段ボール箱に入って送られてくるんだけど、開けた時たまにね、凄くキツイ匂いがあるんだ。そんな時は大抵……中身がグチャリと潰れてるんだよ」

「えー、勿体ない！！」

「ただ潰れてるだけならね。もっとヒドイのは、そこから黴が生えて丸々覆い尽くされてる奴さ。そうなってしまうば、ただキツイ香りのするドロドロの塊、丸で汚泥だよ。ヒドイ時は箱や周りの果物にへばり着いてたりするんだ。それを手で引っ掴んでゴミ箱に捨てなきゃいけないんだけど、持つてる最中にドロリと液化化した果肉が腕を伝ってきたり……って、咲季ちゃん、どうかした？」

「な、なんか……気持ち悪くなってきた……」

「そう？ それでね、毎回そんな物があるものだから、ゴミ箱の中には腐って崩れた奴とかが溢れてたりするんだ。夏場は蠅が集りだし、鬱陶しいったらありやしない。後、お店に並べてる内に痛みだした物とかは、値段を安くして出す為に一旦片付けるんだけど、中々と他の仕事が忙しくてね。気付くと冷蔵庫にそれが一杯溜まっ

てて……そして腐ってるんだ。冷蔵庫の中は暗くて湿っぽいから絶好の場所なんだろうね、ヒドイ時なんて下げた物全部に黴が生えてた上に腐り落ちてたよ。ネチャネチャな粘液になった果汁の中に手を突っ込んで……」

「お兄ちゃん……」

「ん、何だい？」

「私、果物屋さん目指すのやめる。なんか私に出来る気がしないや……」

「え、そうかな？ それは残念だな。……あ、所で今日も果物食べるかと思つて林檎やら蜜柑やら色々持ってきたんだけど」

「いや、何か見たくない！！ 暫く食べたくないよ！！」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1925u/>

お兄ちゃんと咲季

2011年10月6日19時51分発行